

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成20年8月28日 (2008.8.28)

【公表番号】特表2008-512416(P2008-512416A)

【公表日】平成20年4月24日 (2008.4.24)

【年通号数】公開・登録公報2008-016

【出願番号】特願2007-530646(P2007-530646)

【国際特許分類】

C 0 7 C 215/44 (2006.01)

C 0 7 C 215/50 (2006.01)

C 0 7 C 213/02 (2006.01)

C 0 7 C 249/02 (2006.01)

C 0 7 C 251/16 (2006.01)

C 0 7 D 215/38 (2006.01)

A 6 1 K 31/47 (2006.01)

A 6 1 K 31/4704 (2006.01)

C 0 7 D 237/32 (2006.01)

A 6 1 K 31/502 (2006.01)

C 0 7 D 239/74 (2006.01)

A 6 1 K 31/517 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 C 215/44 C S P

C 0 7 C 215/50

C 0 7 C 213/02

C 0 7 C 249/02

C 0 7 C 251/16

C 0 7 D 215/38

A 6 1 K 31/47

A 6 1 K 31/4704

C 0 7 D 237/32

A 6 1 K 31/502

C 0 7 D 239/74

A 6 1 K 31/517

A 6 1 P 29/00

【手続補正書】

【提出日】平成20年7月3日 (2008.7.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 6

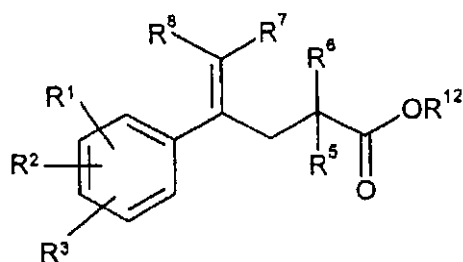
【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 6】

下記式 (IV) :

【化 1】



(IV)

[式中、

R^1 及び R^2 は、互いに独立して、水素原子、ヒドロキシ基、ハロゲン原子、置換されていてもより (C_1-C_{10}) アルキル基、 (C_1-C_{10}) アルコキシ基、 (C_1-C_{10}) アルキルチオ基、 (C_1-C_5) ペルフルオロアルキル基、シアノ基またはニトロ基であるか、あるいは

R^1 及び R^2 は、一緒になって、 $-O-(CH_2)_n-O-$ 、 $-O-(CH_2)_n-CH_2-$ 、 $-O-CH=CH-$ 、 $-(CH_2)_{n+2}-$ 、 $-NH-(CH_2)_{n+1}-$ 、 $N(C_1-C_3-アルキル)-(CH_2)_{n+1}$ 及び $-NH-N=CH-$ (ここで n は 1 または 2 であり、そして末端の原子は直接隣接する環炭素原子に結合している) から成る群から選択される基、または NR^9R^{10} (ここで R^9 及び R^{10} は、互いに独立して、水素、 C_1-C_5 アルキルまたは $(CO)-C_1-C_5$ アルキルであることができる) であり、

R^3 は水素原子、ヒドロキシ基、ハロゲン原子、置換されていてもよい (C_1-C_{10}) アルキル基、 (C_1-C_{10}) アルコキシ基、 (C_1-C_{10}) アルキルチオ基、 (C_1-C_5) ペルフルオロアルキル基またはシアノ基であり、

R^5 はヒドロキシ基、基 OR^{11} または $O-(CO)R^{11}$ 基であり、ここで R^{11} はヒドロキシ保護基または C_1-C_{10} アルキル基であり、

R^6 は (C_1-C_5) アルキル基または必要に応じて部分的もしくは完全にフッ素化された (C_1-C_5) アルキル基、 (C_3-C_7) シクロアルキル基、 (C_3-C_7) シクロアルキル (C_1-C_8) アルキル基、 (C_3-C_7) シクロアルキル (C_2-C_8) アルケニル基、ヘテロシクリル基、ヘテロシクリル (C_1-C_8) アルキル基、ヘテロシクリル (C_2-C_8) アルケニル基、アリール基、アリール (C_1-C_8) アルキル基、アリール (C_2-C_8) アルケニル基、アリール (C_2-C_8) アルキニル基；1 または 2 以上のケト基、 (C_1-C_5) アルキル基、 (C_1-C_5) アルコキシ基、ハロゲン原子または (C_1-C_3) エキソアルキリデン基で置換されてもよく、そして 1 または 2 以上の窒素原子および/または酸素原子および/または硫黄原子を含む一環式または二環式ヘテロアリール基；ヘテロアリール (C_1-C_8) アルキル基またはヘテロアリール (C_2-C_8) アルケニル基であり、ここでこれらの基は任意の位置を介してテトラヒドロナフタレン系に結合することができ、そして必要に応じて 1 または 2 以上の部位において水素化されていてもよく、

R^7 及び R^8 は、互いに独立して、水素原子、ハロゲン原子、 (C_1-C_5) アルキル基 (これは OR^{10} 、 SR^{10} または $N(R^9R^{10})$ で置換されていてもよい) であるか、あるいはメチレン基の炭素原子と一緒に (C_3-C_6) シクロアルキル環であるか、あるいは

R^1 および R^8 は、一緒になって、アニール化された 5 ~ 8 員の飽和または不飽和炭素環または複素環であり、これは必要に応じて 1 ~ 2 個のケト基、1 ~ 2 個の (C_1-C_5) アルキル基、1 ~ 2 個の (C_1-C_5) アルコキシ基、1 ~ 2 個のヒドロキシ基または 1 ~ 4 個のハロゲン原子により置換されており、

ここで基 R^7 及び R^8 の少なくとも 1 つは、水素原子ではなく、そして R^{12} は (C_1-C_5) アルキルまたはベンジルである]

で表される立体異性体。